

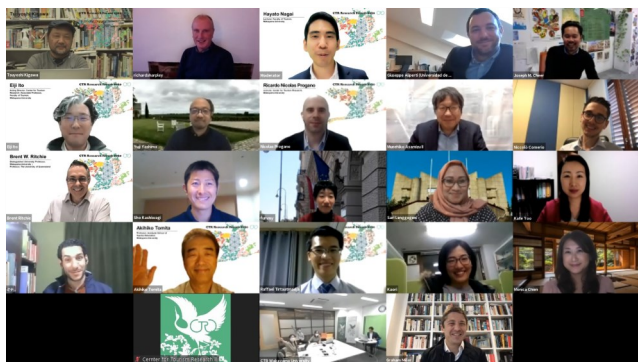
CTR NEWSLETTER

No.6 | March, 2021

2020年度 CTR研究集会

新型コロナウイルスの影響により、4年目となる本集会は、初のオンライン開催となりました。例年通り、CTR研究支援プログラム採択課題の中間報告およびCTR専任研究員の活動報告の他、本学観光学研究科博士後期課程の学生3名による研究発表が11月13日（金）に和歌山と各地を繋いで行われました。CTR客員フェローを中心に、世界30以上の国・地域からの参加があり、質疑応答も活発に行われました。本学特別主幹教授3名も全員が各国から参加し、共同研究への展開やさらなる学生の参加等、今後への期待が述べられました。

※アブストラクト集 <http://www.wakayama-u.ac.jp/ctr/news/2020110200051/>

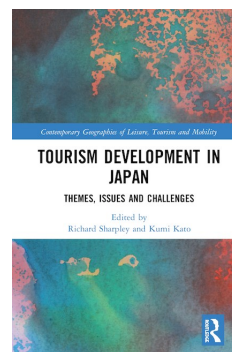


Other Topics

- ◆ CTRイベントレポート
- ◆ 論文集&セミナーシリーズ報告書 発行
- ◆ 観光映像祭ネットワーク「CIFTT」加盟
- ◆ 学会開催支援
- ◆ CTR研究コミュニティ

「Tourism development in Japan – Themes, issues and Challenges」出版

本学特別主幹教授のRichard Sharpley CTR副センター長および加藤久美CTR研究員が編集者を務めた、日本の観光に焦点を当てた書籍が10月にRoutledge社から出版されました。これは、国際的研究拠点形成のための基盤づくり、また本学における観光研究成果を広く



国外にも紹介することを目的とした組織的な取り組みとして、CTR研究員を中心に執筆、編集を行い、2018年1月に刊行された国際的学術誌 Tourism Planning & Development 特集号Vol 15, Issue 1, Tourism development in Japan- Issues and Challenges – a focus on regions and communities を土台としています。現CTR研究員計12名が参加し、14章がまとめられました。日本の観光研究を世界に発信するマイルストーン的書籍となりました。

※目次等詳細 <https://www.wakayama-u.ac.jp/ctr/news/2020110500014/>

Events reports - From October to March

10月21日 Wakayama-CTR Webinar Series 2020 Vol.4

‘Decarbonising academic conference travel’

シリーズ最終回の第4回目は、ニュージーランド、オタゴ大学のJames Higham教授と英オックスフォード大学のDebbie Hopkins准教授を講師に迎え実施しました。学術界で頻繁に開催される国際学会等の出張に際する航空移動による排出ガスに着目し、世界的なCO2削減につながる新しい学会開催モデルについて議論しました。近年の地球温暖化対策に関する潮流に、未曾有のパンデミックによる影響が相まった、学会の脱炭素化という概念が浸透していくのか考察し、対面交流の価値や需要、関連業界による取り組みの必要性が指摘されました。 ※動画掲載ページ <https://www.wakayama-u.ac.jp/ctr/research/webinar/index.html>



12月6日 観光教育研究セミナー2020

「スポーツツーリズム5 ～メガイベントが日本社会を変える～」



2016年から毎年開催し、最終回となる今回は、新型コロナウイルスの影響により、オンラインで配信されました。「ゴールデン・スポーツイヤーズ（GSYs）のレガシー」をテーマに、GSYsの名付け親として知られる早稲田大学スポーツ科学学術院の間野義之教授を基調講演にお招きし、withコロナ時代におけるレガシー創造について提言いただきました。パネルディスカッションでは、元銀メダリストでもある追手門学院大学の巽樹理准教授と、メガイベントのレガシーの有識者、(株)三菱総合研究所の仲伏達也氏を交え、観光や社会変革に活かすレガシーについて多角的に議論しました。

1月24日 観光・宇宙天文教育研究グループシンポジウム in 醍醐寺

「観光からみた宇宙5」

毎年度開催し、5回目の今年度は、京都・醍醐寺霊宝館からオンラインでライブ配信を行いました。仲田順英醍醐寺執行・統括本部長による宇宙時代における輪廻転生や心の拠りどころといった宗教観についての説法に続いて、磯部洋明京都市立芸術大学准教授からは、宇宙と人文社会学という学問領域について話題提供がありました。パネルディスカッションでは、聖地巡礼を起点に宇宙のとらえ方について議論があり、新しい宇宙観についても提起がありました。



3月2～3日 「第3回日本世界国際観光映像祭」

3年目を迎える「日本国際観光映像祭」が、京都・清水寺を会場にオンライン配信で開催されました。CTR研究員の木川剛志教授が代表を務め、CTRが実行委員会として参画しており、今回の応募作品は国内120本、国際1,207本の総数1,327本で過去最大となりました。厳選されたノミネート作品上映の他、講演やシンポジウム形式のフォーラムを通じて、SDGsを考慮した観光映像、地方誘客を目的としたデジタルマーケティングの手法などの議論を行い、観光発展に止まらず、平和と文化への貢献も果たしうる観光映像のあり方を考える機会となりました。

※公式サイト（過去の受賞作品含め視聴可） <https://jwttf.world/>

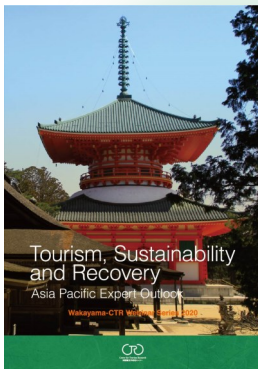
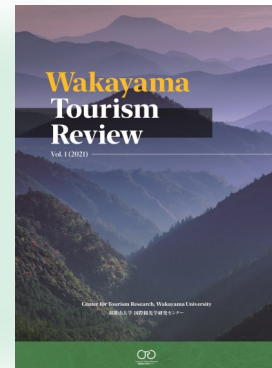


CTR Publications

「Wakayama Tourism Review」 発刊

今年度より研究ユニットを再編したことを受け、CTR研究員の活動紹介カタログとしてユニット別の論文編集第1巻を発行しました。各ユニットに所属する研究員により執筆された現在取り組んでいる研究プロジェクトに関する論文が収録されています。一般公開しており、CTRウェブサイトから閲覧可能です。

<https://www.wakayama-u.ac.jp/ctr/resource/publications/ctrpublication.html>



「Wakayama-CTR Webinar Series 2020」 報告書

今年度、新たな取り組みとして始めたウェビナーシリーズ「Tourism, Sustainability and Recovery: Asia Pacific Expert Outlook」をより多くの方の研究や教育に役立てていただくため、全4回の書き起こしを集録しました。録画動画とともにオンライン公開しており、自由に閲覧可能です。 <https://www.wakayama-u.ac.jp/ctr/news/2021031100024/>

観光教育研究セミナーシリーズ

「スポーツツーリズム ～メイベントが日本社会を変える～」報告書

2016年より毎年開催してきたセミナーシリーズ「スポーツツーリズム～メイベントが日本社会を変える～」が今年度で最終回を迎え、スポーツイベントとそれに伴うスポーツツーリズムが日本社会に与える影響について議論してきたこれまでの全5セッションを書き起こし、実施報告書として集録を発行しました。一般公開しており、詳細はCTRウェブサイトからご覧いただけます。

<https://www.wakayama-u.ac.jp/ctr/news/2021031800023/>



観光学関連オンラインプログラムの国内外動向調査



新型コロナウイルスの感染拡大によりあらゆるもののオンライン化が加速していることを受け、観光学分野において国内外の大学が提供する公開講座やセミナーのオンラインプログラムの実施状況を調査しました。その結果を、研究論文「コロナ禍における観光学分野のオンラインプログラムの状況と課題について」としてまとめ、和歌山大学観光学会紀要「観光学」24号に投稿し、3月に出版されました。本論文は、和歌山大学学術リポジトリにて閲覧可能です。 <https://www.wakayama-u.ac.jp/ctr/news/2021032300041/>

※CTR研究員の論文や著書等業績は、CTRウェブサイト (<https://www.wakayama-u.ac.jp/ctr/resource/publications/>) で紹介しています。

CTR with the World

世界最大の観光映像祭ネットワーク「CIFTT」加盟

アジアで初めて、かつ唯一の映像祭として、「日本国際観光映像祭」が11月にInternational Committee of Tourism Film Festivals (CIFTT) への加盟を果たしました。CIFTTとは、世界15の国際観光映像祭から構成される、UNWTO認定の観光映像祭連合で、観光産業PRの映像配信や表彰を通して作品の質を評価しており、各国の行政・有識者や観光事業者による審査が行われることで、世界

a member of



的な注目が集まります。本加盟を契機に、日本を中心としたアジアでも観光映像をコンテンツとした世界的な交流が活発化することが期待されます。CTRも、同映像祭を核としたデジタルマーケティングを通じて持続可能な観光発展を図る、産学連携による新しい時代のエコシステム構築に貢献します。

学会スポンサーシップ

CAUTHE2021

2月9日（火）～12日（金）にオンラインで開催されたCouncil for Australasian Tourism and Hospitality Educationの年次大会CAUTHE2021にスポンサーとして参加し、CTR専任研究員の Nicolas Prozano特任講師が研究発表「An analysis on the roles of religious guides – Japanese shugendō as case study」を行いました。



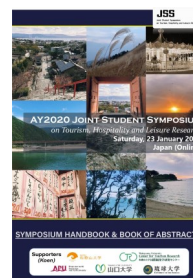
SEAMA2021

国際学会「SEAMA 2021: Island Tourism & Hospitality Management」が3月6（土）～7日（日）に琉球大学国際地域創造学部の主催で開催され、CTRが後援を行いました。同大学を会場にハイブリッド形式で行われ、CTR研究員 Joseph Cheer 特任教授や永井隼人講師、CTR客員フェローの齊藤広晃准教授（立命館アジア太平洋大学）がパネリストとして登壇しました。



国際学生シンポジウム

永井隼人CTR研究員と齊藤広晃CTR客員フェローが共同実行委員長を務める「AY2020 Joint Student Symposium on Tourism, Hospitality and Leisure Research」の後援を行いました。1月23日（土）にオンラインで開催され、本学観光学部の学生も発表を行った他、CTR研究員 Adam Doering 准教授が司会を務めたパネルディスカッションでは、CTR客員ジュニアフェローの江子熹氏（香港理工大学大学院博士課程在学）もパネリストとして参加しました。



Research Communities at Wakayama University

CTR研究コラム

CTRウェブサイトでは、研究コラムを月に一回掲載しています。特に日本を始めとしたアジア地域の観光研究や、観光とSDGsに関する研究に重点を置き、最新の研究情報を発信しています。CTR研究員だけでなく、本学観光学研究科博士後期課程の学生も投稿しています。

<https://www.wakayama-u.ac.jp/ctr/research/column.html>

CTR Student Coffee Chat

観光学部と観光学研究科の学生を対象に、情報交換の場とすることを狙った「CTR Student Coffee Chat」を11月に創設しました。同研究科の卒業生でもある Nicolas Prozano 特任講師がファシリテーターを務め、月に一度の開催に、進学を希望する観光学部の学生が参加しました。研究相談や最新の研究動向の情報提供、ディスカッションが行われ、研究者コミュニティが醸成されています。

<編集・発行>

和歌山大学 国際観光学研究センター Center for Tourism Research

〒640-8510 和歌山市柴谷930 和歌山大学 西1号館1階

TEL: 073-457-7025

E-mail: info-ctr@ml.wakayama-u.ac.jp

Web: <https://www.wakayama-u.ac.jp/ctr/>